

『人間本性論』

- 合理主義への疑問
  - 当時は合理主義が主流
    - 「人間は理性的な存在だ」
    - 
    - デカルトなどが提唱
  - ⇒ ヒュームが批判「経験主義」を提唱
    - 「人間は経験に基づいている」
- 経験の限界と知識
  - 
    - さまざまな経験
      - （例）ヤカンに触れるとやけどする
      - ⇒ 実際にやけどしてみて学ぶ
      - ⇒ 知識の多くは経験から得られる
  - しかし物事の真理は、経験だけでは理解できない
  - 経験に基づく知識には限界がある
- 因果関係への懐疑
  - 因果関係（「原因と結果の関係」）は存在しない
  - 
    - （例）ボールを蹴るとボールが動く
      - これまでの経験で得られたもの
      - 絶対的な真理ではない
      - 実際に蹴っても動かないこともある
  - 因果関係があると思い込む理由
    - ☑ 近接性（原因と結果が近くにある）
    - ☑ 時間的先行性（原因が結果より先に起こる）
    - ☑ 必然的結合（原因と結果が常に一緒に起こる）